

2009-3

一次試験・筆記解答・解説

p.68~79

一次試験・リスニング解答・解説

p.80~94

二次試験・面接解答・解説

p.95~98

筆記

リスニング

合計

35

30

65

解答一覧

一次試験・筆記

1	(1) 4	(6) 4	(11) 2
	(2) 2	(7) 4	(12) 1
	(3) 3	(8) 3	(13) 3
	(4) 2	(9) 2	(14) 3
	(5) 4	(10) 1	(15) 3

2	(16) 2	(18) 1	(20) 1
	(17) 4	(19) 3	

3	(21) 4	(23) 1	(25) 1
	(22) 2	(24) 3	

4 A	(26) 2	4 B	(28) 4
	(27) 1		(29) 2
			(30) 3

4 C	(31) 2	(33) 1	(35) 2
	(32) 3	(34) 4	

一次試験・リスニング

第1部	No. 1 3	No. 5 3	No. 9 1
	No. 2 2	No. 6 1	No.10 2
	No. 3 1	No. 7 2	
	No. 4 1	No. 8 3	

第2部	No.11 2	No.15 3	No.19 4
	No.12 4	No.16 2	No.20 3
	No.13 4	No.17 2	
	No.14 3	No.18 4	

第3部	No.21 4	No.25 4	No.29 1
	No.22 2	No.26 3	No.30 4
	No.23 3	No.27 4	
	No.24 1	No.28 1	

(1) 解答 4

訳

「サラは人を助けることが好きだ。彼女は週に2回、病院で**ボランティア**として働いている」

解説

1 文目にある help people 「人々を助ける」 ことをするのは volunteer 「ボランティア」。2 文目の works as ~ は「~として働く」。village 「村」, college 「大学」, culture 「文化」。

(2) 解答 2

訳

A 「お母さん、このドレスは新しいのよ。どうかしら？」

B 「すてきよ、ヘレン。あなたにぴったり**合っているわ**」

解説

How does it look? 「どうですか (どのように見えますか)?」 は、見た感じや仕上がりについて尋ねる表現。〈(物) + fit + (人)〉は、「(物) が (人) に (形・サイズが) 合う」の意味。share 「~を共有する」, keep 「~を保持する」, collect 「~を集める」。

(3) 解答 3

訳

「私はいとこたちを**自分の結婚式に招待した**」

解説

cousin(s) は「いとこ」, wedding は「結婚式」。「いとこたちを自分の結婚式に~」につながる動詞を探す。〈invite + (人) + to ~〉で「(人) を~に招待する」。close 「~を閉める」, finish 「~を終える」, answer 「~に答える」。

(4) 解答 2

訳

A 「イタリアへの旅行はどうだった？」

B 「とても楽しかったわ。それを**決して忘れないわ**」

解説

How was ~? は「~はどうでしたか?」で、A は B に trip to Italy 「イタリアへの旅行」の感想を尋ねている。forget は「~を忘れる」だが、never 「決して~ない」を使って、「旅行はとても楽しかった。決して忘れない」とする。

(5) 解答 4

訳

A 「すみません、この近くにコンビニエンスストアはありますか？」

B 「はい。2分ほど**まっすぐに**歩いていくと、右側に見えます」

A「ありがとうございます」

解説

B はコンビニエンスストアの場所を説明している。walk との意味的なつながりを考えて、straight「まっすぐに」を選ぶ。B の2文目は〈命令文, and 〜〉「…してください、そうすると〜」の構文。less は little の比較級で「より少なく」という意味。later「あとで」、suddenly「突然」。

(6) 解答 4

訳

A「オリンピックの歴史についてレポートを書かなくちゃならないんだ、お父さん」

B「この本を読んでごらん、サム。オリンピックについてたくさん**の情報**が載っているよ」

解説

B の2文目の主語 It は、前の文の this book のこと。主語が「本」ということと「オリンピックに関するたくさん〜」との意味的なつながりを考えて、information「情報」を選ぶ。time「時間」、health「健康」、afternoon「午後」。

(7) 解答 4

訳

A「もしもし、そちらはスター・ピザ・レストランですか？」

B「すみません。こちらはウエスト医院です。番号をお**間違え**だと思います」

解説

Hello, is this 〜? 「もしもし、そちらは〜ですか？」などから、電話での会話だとわかる。wrong number は「間違った番号」。bad「悪い」、heavy「重い」、sick「病気の」。

(8) 解答 3

訳

「私の父はよく、仕事**へ行く途中**に新聞を買う」

解説

空所前の on his と空所後の to に注目して、on *one's* way to 〜「〜へ行く途中に」という表現にする。*one's* の部分には his や her など、代名詞の所有格が入る。newspaper は「新聞」。

(9) 解答 2

訳

「ジャックは来週末、友だちと映画を見に行くことを**楽しみに**している」

解説

look forward to 〜ing で「〜することを楽しみに待つ」という表現になる。to の後ろは動詞の原形ではなく、〜ing がくることにも注意する。see a movie は「映画を見に行く」、weekend は「週末」。

(10) 解答 1

訳

A 「どこで育ったの、デイビッド？」

B 「サンフランシスコだよ」

解説

空所の後ろにある up とつながる動詞を探す。grow up で「育つ、成長する」という意味になる。lose 「～を失う」、rise 「上がる」、sound 「～のように聞こえる」。

(11) 解答 2

訳

A 「シンディーは遅いわね。打ち合わせを始めましょう」

B 「そうだね、待ちくたびれたよ」

解説

tired は「疲れた」という形容詞だが、be tired of ～ing で「～するのに飽きて [うんざりして] いる」という意味。upset 「動揺して」、silent 「静かな」、crowded 「混雑して」。

(12) 解答 1

訳

A 「ステップ出版社です。ご用件をお伺いいたします」

B 「ホワイトさんをお願いできますか？」

A 「申し訳ありませんが、ただ今、席を外しております」

解説

電話での会話。空所の後ろにある his desk とのつながりを考える。not at one's desk は「机のところにいない」、つまり「席を外している」ということ。May I speak to ～? は「～をお願いできますか?」、right now は「ちょうど今」。

(13) 解答 3

訳

A 「誰が私の CD プレーヤーを壊したんだ？」

B 「ぼくだよ。ごめんなさい、お父さん」

解説

動詞 break 「～を壊す」の形が問題のポイントになっている。B が I did. 「ぼくがした」と過去形で答えていることに注意する。これに合わせて「誰が壊したのか」という意味になるように、break の過去形 broke を使う。

(14) 解答 3

訳

「私の家族は、クッキーという名前の小さな茶色の犬を飼っている」

解説

call は「…を～と呼ぶ」という動詞。これを過去分詞の called にすると「～と呼ばれる [という名前の]」という意味になり、直前の名詞（ここでは a little brown dog）を修飾することができる。

(15) 解答 3

訳

A「ティム、この携帯電話の**使い方**を私に教えてくれる？」

B「いいよ。ぼくは同じものを持っているんだ」

解説

〈show + (人) + (物)〉「(人)に(物)を見せる、教える」の(物)の部分が、〈疑問詞 + to 不定詞〉になっている文。how to ~ で「~する方法」という意味。cell phone は「携帯電話」。

一次試験・筆記

2

問題編 p.60

(16) 解答 2

訳

妻「朝食を食べていないわね。**どうかしたの？**」

夫「おなかですいていないだけなんだ」

解説

夫が breakfast「朝食」を食べていない場面。夫が I'm just not hungry. と答えていることから、相手を気遣う表現である What's the matter?「どうかしたの？」が正解。

(17) 解答 4

訳

先生「手伝ってほしいんだけど、デイビッド。これらの本を教室へ運んでちょうだい」

生徒「**喜んで**」

解説

先生が Please carry ~.「~を運んでください」と、生徒に頼んでいる状況を理解する。相手の依頼や誘いなどに対して「ぜひとも、喜んで」と答えるのが I'd be glad to. である。2の That's kind of you. は「親切にありがとう」というお礼の表現。

(18) 解答 1

訳

男性「すみません。ジェファーソン美術館へ行きたいのですが。
どこにあるかご存じですか？」

女性「ここからは遠いですよ。向こうのあのバスに乗った方がいいです」

男性「ありがとうございます」

解説

女性の It's far from here.「それはここから遠い」から、男性が the Jefferson Art Museum の場所を尋ねていることが推測できる。正解1の Do you know where it is? は、know の目的語として where it is「それがどこにあるか」が続く。

(19) 解答 3

訳

息子「お母さん、残念だけどテストはうまくいかないと思うよ」
母親「心配しないで。最善を尽くすだけよ」

解説

I'm afraid ～「残念ながら～」の後ろには、よくないことや好ましくない内容が続く。テストのことを心配している息子に、母親は Just do your best. 「ただ最善を尽くしなさい」と励ましている状況を理解する。3 の Don't worry. 「心配しないで」が正解。

(20) 解答 1

訳

夫「今日は家の掃除をしなくちゃね」
妻「賛成だわ。居間から始めましょう」

解説

need to ～は「～する必要がある」。最後の文 Let's start with the living room. 「居間から始めましょう」から、家を掃除することについて妻が同意していることがわかる。正解1の〈agree with + (人)〉は「(人)に賛成する」。

一次試験・筆記

3

問題編 p.61

(21) 解答 4

正しい語順

(Do they sell clothes for children) at that store?

解説

日本語の「あの店では」に相当する部分が、文末に出ている at that store であることに注意する。ここでは「店(の人たち)」を意味する they を主語にして文を作る。疑問文なので Do they ～で始め、次に動詞 sell 「～を売る」をもってくる。「子供用の服」は「子供のための服」と考え、clothes for children とする。

(22) 解答 2

正しい語順

(Look at those people playing volleyball on) the beach.

解説

「～をあらなさい」を命令文と考え、動詞の原形 Look で始める。「～を見る」は look at ～で、この後ろに、見る対象をもってくる。「砂浜でバレーボールをしている人達」は、英語では「(あの)人達」(those people) + 「バレーボールをしている」(playing volleyball) + 「砂浜で」(on the beach) の語順になる。これは playing volleyball on the beach が、直前の those people を修飾する構造になっている。

(23) 解答 1

正しい語順

解説

Mr. Wood (hasn't **decided** where **to go** for dinner) yet.
 「まだ決めていません」は現時点で決まっていないということなので、現在完了形の否定文 hasn't decided とする。「夕食をどこに食べに行くか」を、〈疑問詞+to 不定詞〉(ここでは where to go 「どこに行ったらいいか」) で表すことがポイント。「夕食を」は「夕食のために」と考え、for dinner とする。not ~ yet は「まだ ~ ない」。

(24) 解答 3

正しい語順

解説

(My reason **for going to America** is) to learn English.
 「私がアメリカに行く理由」を主語にして文を作るが、「私が～する理由」(My reason for ~) + 「アメリカへ行く」(going to America) の語順にする。最後に、文全体の動詞となる is をもってくる。文末に出ている to learn English は「英語を習うこと」の意味で、to 不定詞の名詞的用法。

(25) 解答 1

正しい語順

解説

John (was **too busy to read** the newspaper) yesterday.
 主語 John の後ろには動詞がくるが、ここでは be 動詞の過去形 was をもってくる。「～すぎて…できない」は〈too ~ (形容詞) to ... (動詞の原形)〉を使って表す。「忙しい」は busy, 「新聞を読む」は read the newspaper とする。

一次試験・筆記

4A

問題編 p.62~63

ポイント

高校で行われるケーキフェアの案内。ケーキのコンテストに参加する人への情報と、チケットを買ってそのケーキを試食する人への情報が書かれているので、混同しないように気をつけよう。

全訳

シルバーウッ드의ケーキフェアにお越しく下さい!

日: 1月9日 土曜日

時間: 午前10時から午後2時まで

場所: シルバーウッド高校の体育館

シルバーウッド在住の方であれば誰でも、フェアのためにケーキを焼くことができます。ベストケーキ賞は、パイサノズ・イタリアンレストランでのディナー2人分です。コンテストに参加した

いは、メリッサ・ロングまでご連絡ください。12月22日までに、555-1323 へお電話ください。

フェアのチケットは2ドルです。フェアにお越しくださった方は、ケーキを試食して、最も気に入ったケーキを選ぶことができます。コーヒーと紅茶を無料で飲むこともできます。ケーキフェアで得たお金は、シルバークウッド高校のジャズバンドに役立てます。

語句

fair「フェア、品評会」、a.m.「午前」、p.m.「午後」、gym「体育館」、bake「～を焼く」、prize「賞、賞品」、restaurant「レストラン」、enter「～に参加する」、contest「コンテスト」、call「～に電話する」、cost「～の値段である」、\$2 (two dollars)「2ドル」、try「～を試食する」、choose「～を選ぶ」、favorite「最も気に入った」、free「無料の」

(26) 解答 2

質問の訳

「フェアのためにケーキを焼きたい人は、何をしなくてはならないか」

選択肢の訳

- 1 1月10日までに2ドルを払う。
- 2 12月22日までにメリッサ・ロングに電話する。
- 3 パイサノズ・イタリアンレストランで昼食をとる。
- 4 シルバークウッド高校へ行く。

解説

質問の if they want to bake a cake for the fair「フェアのためにケーキを焼きたい人は」は、掲示の If you want to enter the contest「コンテストに参加したい方は」と同じこと。この後ろに speak to Melissa Long「メリッサ・ロングまでご連絡ください」とあり、その具体的な方法は次の文で説明されている。

(27) 解答 1

質問の訳

「チケットを買った人ができることは」

選択肢の訳

- 1 いろいろなケーキを食べる。
- 2 焼き方を習う。
- 3 イタリア料理を試食する。
- 4 ジャズバンドを見る。

解説

チケットについては A fair ticket costs \$2. で始まる最後の段落を見る。次の文の主語 People who come to the fair は、チケットを買ってフェアに来る人たちのこと。can try the cakes and choose their favorite one (= cake) から、フェアに出されたケーキを試食して最も気に入ったものを選ぶということがわかる。正解の1では、different cakes「いろいろなケーキ」という表現を使っていることに注意する。

ポイント

2人の女の子が、クリスマスプレゼントの買い物をしに行く計画についてやりとりをしているEメール。買い物に行く日、場所、交通手段、誰にプレゼントを買うかなどが書かれている。質問されている情報がどこにあるかを、短時間で見つけ出すようにする。

全訳

送信者：エマ・スミス

受信者：キャシー・ジョーンズ

日付：2009年12月17日 13時57分

件名：クリスマスの買い物

こんにちは、キャシー、

学校の最後の日に、今週末、クリスマスの買い物に行きたいって言っていたわよね。土曜日と日曜日のどちらに行きたい？ 街が学校の近くのショッピングセンターへ行けるわね。いろいろな店に行けるといいわね。それから、妹も一緒に行っていい？ 私は母、父、そして祖父母にプレゼントを買いたい。妹にはもう買ってあるわ。この夏に中華料理店で働いたので、お金は十分あるのよ。すぐに返事をちょうだいね。

エマ

送信者：キャシー・ジョーンズ

受信者：エマ・スミス

日付：2009年12月17日 18時12分

件名：週末

エマへ、

土曜日は書店でアルバイトがあるので、日曜日の方がいいわ。私は両親と兄[弟]にプレゼントを買いたい。街へ行きましょうよ。ショッピングセンターの方が近いけど、街ほどお店が多くないわ。一緒に電車に乗って行けるわ。11時30分に駅前で会いましょう。妹さんも来ていいわよ。街に着いたら、買い物へ行く前にハンバーガー・ガーデンで昼食をとりましょう。妹さんは、そのレストランが好きだったわよね。

それじゃ！

キャシー

送信者：エマ・スミス

受信者：キャシー・ジョーンズ

日付：2009年12月17日 21時46分

件名：日曜日の予定

こんばんは、キャシー、

わかったわ、日曜日の11時30分に駅で会いましょう。買い物が終わったら、母に電話するわね。母は街へ来て、私たちを車で家まで送ってくれるの。妹はハンバーガー・ガーデンへ行くことを楽しみにしているわよ。

それじゃ、日曜日に！

エマ

語句

go Christmas shopping「クリスマスの買い物に行く」、weekend「週末」、mall「ショッピングセンター」、gift(s)「ギフト、贈り物」、hear from ~「~から連絡をもらう」、part-time job「アルバイト」、bookstore「書店」、Why don't we ~?「~しませんか?」、closer < close「近い」の比較級、in front of ~「~の前で」、remember「~を覚えている」、be excited about ~ing「~することにわくわくしている」

(28) 解答 4

質問の訳

「エマはどうやってクリスマスプレゼントを買う十分なお金を手に入れたか」

選択肢の訳

- 1 誕生日に祖父母からお金をもらった。
- 2 書店でアルバイトをした。
- 3 姉[妹]からお金をもらった。
- 4 この夏にレストランで働いた。

解説

質問の enough money to ~は「~するのに十分なお金」の意味。エマがクリスマスプレゼントを買うお金をどのように得たかは、エマが書いた最初のEメールの最後から2つ目の文に、I have enough money because I worked at a Chinese restaurant last summer. と説明されている。work at ~は「~で働く」。

(29) 解答 2

質問の訳

「キャシーはなぜ街へ買い物に行きたいのか」

選択肢の訳

- 1 ショッピングセンターよりも近いから。
- 2 そこにはより多くの店があるから。
- 3 そこで両親に会わなければならないから。
- 4 週末にそこで働いているから。

解説

キャシーが書いたEメールの3文目で、Why don't we go to the

city? 「街へ行きませんか?」と提案している。その理由が、次の文の The mall is closer, but there aren't as many stores as in the city. である。not as ~ as ... は「…ほど～ない」の意味。「(ショッピングセンターには) 街ほど多くの店がない」と、正解 2 の「そこ (街) にはより多くの店がある」が一致する。

(30) 解答 3

質問の訳

「女の子たちは買い物をしたあと、どうやって帰宅するか」

選択肢の訳

- 1 歩く。
- 2 電車に乗る。
- 3 **エマの母親が彼女たちを車で家まで送る。**
- 4 キャシーの兄[弟]が彼女たちを車で家まで送る。

解説

質問の get home は「帰宅する」。最後のEメールの3文目 She can come to the city and drive us home. に注目する。She は前の文の my mom 「私のお母さん」、つまり、このメールを書いたエマの母親のこと。drive ~ home は「～を車で家まで送る」。

09
年度第3回
筆記

一次試験・筆記

4C

問題編 p.66~67

ポイント

キャロル・バックリーという女性が、アメリカのテネシー州に作った象の保護区域に関する長文。どんな象を対象にしたものか、保護区域で象はどのような生活を送るのかなどを読み取る。

全訳

象の保護区域

象はアメリカの動物園やサーカスで人気があるが、とても大きくて、たくさん食べる。象の世話は、とてもお金がかかる。象が年を取ると、動物園やサーカスではその世話ができなくなることがよくある。その理由の1つは、十分にお金がないからである。キャロル・バックリーは、動物園やサーカスの年を取った象が暮らすための場所を作りたいと思った。1995年、彼女はテネシー州にある大きな公園の中に、象の保護区域を作った。保護区域では、これらの象はペットのようにではなく、自然の中にいる野生の象と同じように暮らすのである。

当初、保護区域には象が1頭しかいなかったが、年々多くの象がやって来た。現在、保護区域には15頭の象がいる。象はすべてメスで、その理由は、オスの象は自然の中では通常、単独で生活するからである。最高齢の象は61歳で、最年少は27歳である。象の保護区域にいる象は、大きな集団の一員であることを楽しみ、

スペースもたくさんある。寒い天候の時は、象のための暖かい建物があり、病気になれば医者が見てくれる。公園には象が楽しむことができる野原、森、そして大きな湖がある。訪問者や旅行者は象を見に来ることができない。象が会う唯一の人間は、自分たちの世話をしてくれる人たちである。

何年もの間サーカスで働いたり動物園にいたりしたあとに、象は保護区域で良い生活を送ることができる。キャロル・バックリーは、多くの象を助けたいと思っている。将来、この保護区域を100頭の象が暮らせる大きさにしたいと願っている。

語句

a lot「たくさん」, take care of ~「～の世話をする」, expensive「お金がかかる」, get old「年を取る」, wild「野生の」, nature「自然」, alone「単独で、一人で」, oldest<old「年を取った」の最上級, youngest<young「若い」の最上級, enjoy ~ing「～することを楽しむ」, part of ~「～の一部」, space「スペース、空間」, weather「天候、気候」, get sick「病気になる」, field(s)「野原」, visitor(s)「訪問者」, tourist(s)「旅行者」

(31) 解答 2

質問の訳

「動物園やサーカスが象を飼うのが困難になることがあるのはなぜか」

選択肢の訳

- 1 象はあまり長生きしない。
- 2 象は世話をするのにお金がかかる。
- 3 象は訪問者に人気がない。
- 4 象は病気になりやすい。

解説

質問の hard は「困難な」。keep elephants「象を飼う、維持する」という表現は本文にないが、第1段落の2文目 Taking care of them is very expensive. や、4文目 One reason is because they don't have enough money. から判断する。reason は「理由」。ここでは、前の文の Zoos and circuses often cannot take care of elephants when they get old. の理由を表している。

(32) 解答 3

質問の訳

「キャロル・バックリーが保護区域を作った目的は」

選択肢の訳

- 1 象を動物園やサーカスに売る。
- 2 象を訪問者に見せる。
- 3 年を取った象に暮らす場所を与える。
- 4 象をペットとして飼う。

解説

質問の to は「～するために」という意味で、キャロル・バック

リーが象の保護区域を作った目的が尋ねられている。第1段落の5文目に、Carol Buckley wanted to make a place for older elephants from zoos and circuses to live. とある。この文では、for ~ to ... 「～が…するための」が a place を修飾している。

(33) 解答 1

質問の訳

「保護区域が始まった時、何頭の象が飼われていたか」

選択肢の訳

1 1 頭。 2 15 頭。 3 27 頭。 4 100 頭。

解 説

質問は受動態になっていて、kept は keep の過去分詞。when it started「それ(保護区域)が始まった時」に注目し、In the beginning「初めは」で始まる第2段落の1文目を見る。正解以外の数字もすべて本文で使われているので、注意しよう。

(34) 解答 4

質問の訳

「保護区域にはなぜメスの象しかないのか」

選択肢の訳

- 1 メスは寒い気候でより良く生きることができる。
- 2 メスはオスよりもスペースが必要である。
- 3 オスの象はサーカスや動物園で使われない。
- 4 オスの象は通常、自然の中では他の象と一緒に暮らさない。

解 説

第2段落の3文目前半に All of the elephants are female とあり、その理由が文の後半で because in nature, male elephants usually live alone と説明されている。live alone「単独で生活する」を、正解の4では don't usually live with other elephants と言い換えていることに注意する。other は「他の」。

(35) 解答 2

質問の訳

「キャロル・バックリーは将来何をしたいか」

選択肢の訳

- 1 保護区域の象をそれぞれの国に送り返す。
- 2 もっと多くの象を保護区域に連れてくる。
- 3 人々に保護区域の象の乗り方を教える。
- 4 多くの旅行者を保護区域に招待する。

解 説

質問の in the future は「将来」で、同じ表現が最後の文に使われている。この文の make 以下は、〈make + 目的語 (the sanctuary) + 補語 (big)〉「(目的語)を(補語)の状態にする」の構造になっている。big enough for 100 elephants to live there は「そこで100頭の象が暮らせるほど大きい」という意味。つまり、保護区域の象を現在の15頭よりも増やしたいと考えている。